

シラバス参照

講義名	ファミリービジネスの経営		
(副題)			
開講責任部署	太宰府		
講義開講時期	秋学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1時限
校地	太宰府		
科目分類名			
科目分野名			
対象学科・年次	経営学科 ・ 3年次		
必須/選択			

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 山口 勝士	指定なし

学習目標(到達目標)	<p>[ファミリービジネスの定義や特徴]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファミリービジネスという組織の定義を、株式所有と経営の視点から説明することができる。 ■ ファミリービジネスの「所有者」、「経営者」、「家族」は、それぞれの立場でどのような利害や関心を持っているのかを考えることができる。そして、経営者の視点に立ち、この三者の視点の違いがから起こる問題を予想し、解決策を考えることができる。 ■ ファミリービジネスの業績の特徴や、なぜファミリービジネス以外の企業と業績の差が生じるのか、要因を説明することができる。 <p>[ガバナンス]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方や、ファミリービジネスのガバナンス上起こりうる問題を学び、それを解消する方策を考えることができる。 ■ 併せて、家族のガバナンスを行う必要性と、ガバナンスを行う様々な仕組みを、企業の規模に応じて説明することができる。 <p>[経営戦略]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 企業を取り巻く外部環境、事業の魅力度、その企業の経営資源の観点から、経営戦略の方向性を考えることができる。 <p>[事業承継]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 同族企業の事業承継のプロセスを学び、円滑に事業承継を行うために、① 現経営者に必要なこと、② 事業承継者に必要なことを論じることができる。 <p>[事業プラン]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営面と所有面について、家族の関与度の違いに応じた方向性の分類をFamily Business Mapというフレームワークによって学び、①「株式は家族が所有し、経営も家族が中心となって行うタイプ」、②「株式は拡散し、経営は家族が中心となるタイプ」、③「株式は家族が所有し、経営は家族以外の専門経営者を活用するタイプ」、④「株式は拡散し、経営も家族以外の専門経営者を活用するタイプ」とい4つの方向性の利点や短所を論じることができる。 ■ 事業の方向性を考える際、家業の伝統や価値観、アイデンティティー（会社のアイデンティティー、家族のアイデンティティー）といった要素の意義を理解し、考慮に入れることができる。
授業概要(教育目的)	<ol style="list-style-type: none"> (1) ファミリービジネスという組織の特徴を理解する：定義や企業の主な特徴、業績の特徴を学ぶ。 (2) 「スリー・サークル・モデル (Three-circle Model)」を使い、ファミリービジネスの経営を左右する3つの立場「所有者」、「経営者」、「家族」の視点の違いを学ぶ。 (3) ガバナンス：コーポレート・ガバナンスと家族のガバナンスについて、それぞれの目的や効果、方法（仕組み）を学ぶ。 (4) 経営戦略の基本的な理論を学び、事業の魅力度や企業の経営資源、外部環境に応じた戦略の方向性を理解する。 (5) 同族企業における事業承継のプロセスを学ぶ。そして、事業承継を円滑に行う上で重要なことを、現経営者の視点、事業承継者の視点で理解する。 (6) 経営と株式所有についての方向性を、Family Business Map のフレームワークを使い、学習する。(1) 経

営面では、「家族中心の経営」と「家族以外の経営者の活用」、(2) 株式所有については「家族が筆頭株主として多数の株式を所有する場合」と「一般株主も含め株式を分散させる場合」のそれぞれの利点と短所を学ぶ。

授業計画表

回	内容
第1回	① オリエンテーション：成績評価や出欠のルール。Teamsの活用方法。 ② ファミリービジネスの定義と経営、業績の特徴。
第2回	コーポレート・ガバナンス（企業統治） ・コーポレート・ガバナンスの基本的な仕組み。 ・ファミリービジネスにおいて起こる、コーポレート・ガバナンスの問題とその対処。
第3回	家族のガバナンス ・家族のガバナンスが必要な理由。 ・家族のガバナンスの基本的な仕組み。
第4回	まとめ：ファミリービジネスの概要～ガバナンス。
第5回	経営戦略論①：競争戦略論（基礎）コスト・リーダーシップ戦略と差別化戦略
第6回	経営戦略論②：競争環境の分析① 業界の競争状況と新規参入・代替品の脅威
第7回	経営戦略論③：競争環境の分析② 売り手と買い手の交渉力
第8回	経営戦略論④ 外部環境の変化：政治、経済、社会、技術の変化
第9回	経営戦略論⑥：強みと弱み、機会と脅威の分析：SWOT分析と資源ベース理論
第10回	経営戦略論⑦：成長戦略
第11回	経営戦略論⑧：まとめとディスカッション
第12回	事業承継①： ・事業承継プロセスの全体像 ・事業承継計画：経営者と事業承継者の視点で考える
第13回	事業承継②：まとめとディスカッション
第14回	ファミリービジネスの事業プラン①：“Family Business Map”を用いて、株式所有と経営への家族の関与の方針を考える。
第15回	ファミリービジネスの事業プラン②：発表とディスカッション
第16回	（定期試験）

授業形式

【対面授業】
※履修登録者数によっては、オンライン授業とする場合がある。

評価方法

① 理解度：40%
・テスト形式の課題の点数にて評価する。
・定期試験の点数にて評価する。

② 応用力・思考力：40%
・課題の提出内容によって評価する。

③ 学習意欲：20%
・課題の提出回数によって評価する。
・授業中の発言やディスカッションへの参加度合いによって評価する。

※ただし、全授業回数の2/3以上の出席がない場合には、成績評価の対象としない。

テキスト

【図書名】日本のファミリービジネス
【著者名】ファミリービジネス学会
【出版社】中央経済社
【価格（税込）】2,640円

テキストISBN番号

9784502190117

参考文献

いくつか、参考文献を載せます。その他にも、授業中や科目のTeamsにて適宜ご紹介します。

(1)
『ファミリービジネス白書【2022年版】：未曾有の環境変化と危機突破力』
後藤 俊夫（監修）、落合 康裕（著）、荒尾 正和（編集）、西村 公志（編集）
発行：白桃書房（2022年）
ISBN：9784561267607

(2)
『ファミリービジネス：知られざる実力と可能性』
嶋田 美奈（著）、後藤 俊夫（編集）

	<p>発行：白桃書房（2012年） ISBN：9784561235835</p> <p>(3) 『ビジネススクールで教えているファミリービジネス経営論』 ジャスティン・B・クレイグ、ケン・ムーア（著） 発行：プレジデント社（2019年） ISBN：9784833423250</p> <p>(4) 『ファミリービジネス：最良の法則』 ランデル・カーロック（著）、ジョン・ワード（著） 発行：ファーストプレス（2015年） ISBN：9784904336816</p>
オフィスアワー(授業相談)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究室：2階228号室 ・ 教務課で働いているため、固定した時間に研究室にいることが困難です。その代わりに、Teamsのチャットで連絡をいただければ、その場で対応したり、時間を決めて相談に乗れます。 ・ 急ぎの場合、教務課で働いていることが多いため、教務課をお訪ねください。 ・ Email（チャット）：yamaguchi.katsushi@fk.jue.ac.jp
学生へのメッセージ	<p>【関連コース】この授業は、「アツギ・起業家コース」（2023年度以降の入学）や「社会起業家・事業継承コース」（2022年度～2020年度の入学）の専門科目です。</p> <p>ファミリービジネスは、家族が中心となって経営を行う企業のことを指し、かつては「同族企業」と呼ばれることが多かったです。ご自身の立場から見れば、「家業」と呼びます。皆さんの中には、ご両親やご家族が事業を営んでおり、将来、その事業に関わる予定の方もいると思います。そのような学生の方には、特に関係のある授業です。</p> <p>このような家業を持っていない方でも、同族企業の経営の特徴を理解することは重要です。同族企業は、実は企業の中に一定数存在しており、皆さんが将来の仕事において、取引先として、あるいは金融機関や投資家の立場から、このような同族企業と関わることもあるでしょう。そうした時に、同族企業の経営や考え方の特徴を理解していると、仕事において役に立つことも多いでしょう。</p>
準備学習の内容	<p>(1) 事前に課題がある場合には、指示に従い取り組み、期日までに提出すること。</p> <p>(2) 教科書（テキスト）や資料を事前に読むように指示した場合、よく読み、自分なりに咀嚼して授業に臨むこと。</p> <p>以下の授業を履修していると、より理解が深まるでしょう。履修の前提条件ではありませんので、履修してなくても大丈夫です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業論（「企業論A」、「企業論B」）・・・コーポレート・ガバナンスを理解するのに役立ちます。 ・ 経営戦略論